

地域おこし協力隊

vol. 18

『横山陽子』の活動日記

地域おこし協力隊の活動のひとつに、飯南高校の魅力化、活性化に関わる活動があります。先日、飯南高校1年生の「産業社会と人間」という授業で、地域のフィールドワークがあり私も参加させていただきました。

16グループに分かれて、地域の魅力探しに出かけました。私は有間野地域へ同行しましたが、生徒さんは、すれ違う人に挨拶したり話しかけたり、地域のお父さんから尺八を聴かせてもらったりしました。

また、田んぼにいるヒルに興味津々だったり、今の季節は紫陽花が綺麗で、紫陽花は色によって花言葉が違うということをお話してくれたり、色々なものを見て、五感をフル活用しているのが印象的でした。

生徒さんに「将来は何がしたい？」と聞くと、「農業を勉強したい」「保育士になりたい」「美容師になりたい」など、しっかりと考えていることに正直驚きました。

私が高校生の頃は、勉強ばかりで地域のことは何も知らなかったし、将来のことはまだよくわからず考えていませんでした。飯南高校のように地域に出て学び、生きる力を育てる教育はとても素晴らしく、社会に出たときに役立つ学びだと思います。

秋には2回目のフィールドワークがあります。高校生と出会った際は、色々なお話を聞かせて頂けたら嬉しいです。



＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック

松阪市地域おこし協力隊の

 Instagram



松阪市地域おこし協力隊の

 Facebook



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。